



## BACKUP EXEC の製品使用権説明書

この製品使用権説明書 (以下、「本書」) には、ライセンス対象ソフトウェアをご利用になる、個人、会社、または法人であるお客様 (以下、「お客様」または「お客様の」) と Veritas Technologies LLC の間で締結されるベリタスソフトウェア使用許諾契約 (以下、「本使用許諾契約」) の条件の下でライセンスされたライセンス対象ソフトウェアに対する追加条項 (以下、「製品使用権」) が記載されています。本書で使用されているにもかかわらず、本書内で定義されていない「」で囲まれた用語は、本使用許諾契約で指定された意味を持つものとし、本使用許諾契約と本書の条項が一致しない場合は、本書の条項が優先します。

お客様はライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用することにより、本書に記載された製品使用権、および本使用許諾契約の条項に準拠することに同意したことになります。ライセンス対象ソフトウェアに適用される製品使用権に同意しない場合は、ライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用しないでください。

本書が対象とするライセンス対象ソフトウェアは、Backup Exec です。

### 1. 追加の定義

「アプリケーション」は、特定のアプリケーション (例: Microsoft SQL Server) について操作を実行するように設計された 1 つ以上のプログラムを意味しますが、実行はシステムソフトウェアに依存します。

「Capacity Edition」は、ベリタスから使用許諾されているとおりにフロントエンドテラバイトの値に基づいてお客様に使用許諾されているライセンス対象ソフトウェアのライセンスを意味します。本書の他の条項にもかかわらず、Capacity Edition ライセンスに含まれるすべてのコンポーネントのライセンスメーターは、フロントエンドテラバイトに基づくものとし、Capacity Edition ライセンスには、ブロンズ、シルバー、ゴールドエディション、Capacity および Capacity Lite Edition、Backup Exec V-Ray、また第 2.2 条 以下に追加される他のエディションが含まれます。上記にもかかわらず Backup Exec V-Ray では、クラスターの Hypervisor ホストまたはノードで使用されている CPU ソケットの数に応じてライセンスされます。V-Ray 以外で、Capacity Edition ライセンスの条件に基づいて使用が許諾されているライセンス対象ソフトウェアについては、Custom Edition ライセンスの条件で許諾されているライセンス対象ソフトウェアと関連付けて使用することはできません。

「クライアント」または「デバイス」は、(i) お客様がライセンス対象ソフトウェアをインストールし、使用可能であること、(ii) お客様がインストールされたライセンス対象ソフトウェアにネットワーク上でアクセスし、使用可能であること、(iii) 2 台の異なるデバイスをつなぐ物理的な接続ポイントであること、のいずれかを満たす 1 台のコンピュータ、ストレージドライブ、またはその他のデバイスを指します。

「コールドディザスタリカバリ機器」または「コールド DR 機器」は、コールド DR ライセンスがインストールおよび構成されているが、電源がオフになっているかアイドル状態のサーバー、プロセッサ、またはデバイスを指します。アイドルまたは「パッシブ」のモードおよび構成とは、データベースやアプリケーションがインストールされているが、通常操作時にユーザートランザクションまたはクエリー負荷を処理していない高可用性クラスター内のサーバーを指します。

「コールドディザスタリカバリライセンス」または「コールド DR ライセンス」は、災害の発生時における使用許諾契約の要件に従ったお客様による使用のみを目的としてベリタスにより許諾され、コールドディザスタリカバリ機器上に配備されるライセンス対象ソフトウェアのコピーを指します。

「Custom Edition」または「アラカルトライセンス」は、ベリタスから使用が許諾されている特定のデバイス、エージェントまたはオプション機能に基づいてお客様に使用許諾されているライセンス対象ソフトウェアのライセンスを意味します。Capacity Edition ライセンスのライセンスメーターは、第 2.1 条以下に定めるとおり、ライセンス対象ソフトウェアが提供する機能に必要なとされるライセンス対象ソフトウェア環境における、個別のクライアント、アプリケーションまたはデバイスに基づきます。Custom Edition ライセンスの条件に基づいてライセンスが付与されているライセンス対象ソフトウェアについては、Backup Exec V-Ray Edition を除き、Capacity Edition ライセンスの条件に基づいてライセンスされているライセンス対象ソフトウェアと関連付けて使用することはできません。

「データ回復サイト」または「DR サイト」は、コールドディザスタリカバリ機器が所在するサイトまたは場所を指します。

「フェールオーバー準備テスト」は、業務活動を業務サーバーから別のサーバーへ移動するか、または移動手順をテストするプロセスを指します。

「フロントエンドテラバイト」は、(i) 適用されるライセンス対象ソフトウェアがインストールされたクライアントまたはデバイスの総データ量、または (ii) ライセンス対象ソフトウェアを使用してバックアップ機能を提供できるクライアントまたはデバイスの総データ量を意味し、合計値が最大の完全バックアップ (または合成完全バックアップ) が実行された際にライセンス対象ソフトウェアによって実際に計量されたデータ量を指します。テラバイトデータの端数は、最も近い整数のテラバイト値に切り上げられます。1 テラバイトは、1,024 ギガバイトのデータに相当します。

「ホスト」は、特定のアプリケーション (例: Microsoft SQL Server) について操作を実行するように設計された 1 つ以上のプログラムを意味しますが、実行はシステムソフトウェアに依存します。

「管理対象 Backup Exec Server 環境」は、1 台の Backup Exec 集中管理サーバーで管理される Backup Exec Server のグループを指し、Backup Exec 集中管理サーバーが存在しない場合は 5 つの Backup Exec サーバーの静的グループを指します。

「ノード/IP」は、インターネットプロトコルや MAC アドレスなどの、一意のネットワークまたはコンピュータアドレスを指し、これはライセンス対象ソフトウェアによって監視されます。

「プロセッサ」は、「CPU」とも呼ばれ、コンピュータを実行する命令やソフトウェアにアクセスしたりソフトウェアを実行する命令に回答してこれを処理する論理回路を指します。各プロセッサは、複数の処理コアによって構成される場合があり、各コアが個別のプロセッサとして独立して機能する場合があります。ベリタスによってプロセッサに対するライセンスがソケットごとに付与されると明示されている場合、プロセッサ数はホストに対して利用可能なプロセッサの合計数として集計されます。これにはクラスタ環境のプロセッサも含まれます。

「サーバー」は、ネットワークインフラ内でリソースを共有することによりクライアントコンピュータに対してサービスまたはリソースを提供する独立したコンピュータを指します。サーバーでは、他のコンピュータまたはデバイスのためにサーバーソフトウェアを実行できます。

「ストレージデバイス」は、情報を保存するため、コンピュータに接続される、完全にスタンドアロンのストレージユニット、またはマルチデバイスディスクまたはテープを利用したストレージシステム内のストレージユニットとして機能する個々のディスク、テープ、CD、光ディスク、または DVD デバイスを指します。

「ユーザー」は、お客様により、当該ソフトウェアを使用するか、その使用により利益を得ることを認定された個人やデバイス、または当該製品またはサービスの一部を実際に使用する個人やデバイスを指します。「並列実行ユーザー」は、任意の時点でライセンス対象ソフトウェアを使用できる同時ユーザーや同時デバイスの数を指します。

## 2. CUSTOM EDITION または CAPACITY EDITION の使用権ライセンス。

ライセンス対象ソフトウェアのライセンスは、Custom Edition または Capacity Edition の条件に基づき、本条項の規約に従って付与されます。

2.1. Custom Edition に関する一般的な使用権。ライセンス文書に Custom Edition の条件に基づきライセンスされたことが明示されている場合、ライセンス文書の該当する条項に従い、また以下の表に示される該当の使用レベルにおいて、ライセンス対象ソフトウェアを使用できます。

製品	メーター
Backup Exec	サーバー単位
Backup Exec Capacity Edition	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec Capacity Edition Lite	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec ブロンズ	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec シルバー	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec ゴールド	フロントエンドテラバイトごと
Agent for Applications and Databases	アプリケーション単位

Agent for Windows	サーバー単位
Agent for Linux	サーバー単位
Agent for VMware and Hyper-V	ホスト単位
Remote Media Agent for Linux	サーバー単位
Deduplication Option	サーバー単位
Enterprise Server Option	サーバー単位
Library Expansion Option	デバイス単位
NDMP Option	サーバー単位
VTL Unlimited Drive Option (VUDO)	デバイス単位

**2.1.1 エージェントおよびオプション。**ライセンス文書に **Custom Edition** の条件に基づきライセンスされたことが明示されている場合、物理的または仮想的にかかわらず、1 台のアクティブなサーバー上で、シリアル化データベースエージェント、リモートエージェントまたは製品オプションの個別のライセンスコピーを一度に使用できます。また、ライセンス対象ソフトウェアを実行している任意のサーバーにエージェントまたはオプションのライセンスキーをインストールすることにより、個々のサーバーをライセンス対象ソフトウェアを実行している任意のサーバーで保護できます。上記にかかわらず、シリアル番号が付与されたデータベースエージェント、リモートエージェント、または製品について、以下に明示的に記述され、そこに異なるライセンス規定が含まれている場合、その異なるライセンス規定が適用されます。ライセンス文書にエージェントまたはオプション向けにライセンスされたことが明示されている場合、第 2.4 条以下に示される該当のエージェントまたはオプションを使用できます。

**2.2. Capacity Edition に関する一般的な使用権。**ライセンス文書に **Capacity Edition** の条件に基づきライセンスされたことが明示されている場合、ライセンス文書の該当する条項に従い、また以下の表に示される該当の使用レベルにおいて、ライセンス対象ソフトウェアを使用できます。

製品	メーター
Backup Exec Capacity Edition	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec Capacity Edition Lite	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec ブロンズ	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec シルバー	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec ゴールド	フロントエンドテラバイトごと
Backup Exec V-Ray Edition	CPU ソケットごと

**2.2.1 エージェントおよびオプション。**ライセンス文書に **Capacity Edition** に基づくライセンスを取得したことが示されている場合は、第 2.1 条または **Custom Edition** ライセンスに記載されている各エージェントおよびオプションに適用されるメーターにかかわらず、物理環境または仮想環境のサーバー、アプリケーション、クライアント、またはデバイスでライセンス対象ソフトウェアのライセンスエディションを使用できます。ただし、環境のフロントエンドのテラバイト単位の累積容量が、ライセンスを受けたフロントエンドのテラバイト単位の合計を超えず、エージェントまたはオプションが、以下の第 2.3 条に記載されているように、ライセンスを受けたエディションに含まれている場合に限り、適用されます。

**2.2.2 サブスクリプション。**ライセンス文書にブロンズ、シルバーまたはゴールド **Capacity Edition** の条件に基づきライセンスされたことが明示されている場合、ライセンス対象ソフトウェアの使用は一定期間に限り (例、サブスクリプションまたは期間限定ライセンス)、お客様に許諾されます。ライセンス対象ソフトウェアが、一定期間に限り、お客様に使用許諾されている場合 (該当するライセンス証明書に記載)、ライセンス対象ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスは、該当するライセンス期間の満了時に終了するものとします。

## 2.3 Capacity Edition ライセンスに関する詳細。

**2.3.1 ブロンズエディション。**ブロンズレベルライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定されたフロントエンドテラバイトの数値に基づいてライセンスが交付されます。本書の他の条項にかかわらず、ブロンズレベルライセンスは保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイトの数値で測定されます。次の表に記載の **Backup Exec Server**、エージェントおよびオプションを無制限に利用できます。サーバーの保護を無制限に利用できます。またサーバーごとに 1 台の物理テープドライブに対してバックアップデータを送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでバックアップデータを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイトの量と使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量の差を埋めるか、保護対象にしたデータの量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量に適合するようにするまで継続します。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option

**2.3.2 シルバーエディション。**シルバーレベルライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定されたフロントエンドテラバイトの数値に基づいてライセンスが交付されます。本書の他の条項にかかわらず、シルバーレベルライセンスは保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイトの数値で測定されます。次の表に記載の **Backup Exec Server**、エージェントおよびオプションを無制限に利用できます。サーバーごとに使用されるテープデバイスの合計数が 4 台を超えない限り、スタンドアロンまたはテープライブラリの任意の組み合わせで最大 4 台の物理または仮想テープドライブにバックアップデータを送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでバックアップデータを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイトの量と使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量の差を埋めるか、保護対象にしたデータの量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量に適合するようにするまで継続します。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Applications and Databases
Agent for Linux
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option
Library Expansion Option (最大で 4 台のドライブまで)

**2.3.3 ゴールドエディション。**ゴールドレベルライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定されたフロントエンドテラバイトの数値に基づいてライセンスが交付されます。本書の他の条項にかかわらず、ゴールドレベルライセンスは保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイトの数値で測定されます。次の表に記載の **Backup Exec Server**、エージェントおよびオプションを無制限に利用できます。テープドライブの容量が無制限に設定された物理または仮想テープライブラリにバックアップデータを無制限に送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータ



データをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでバックアップデータを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイトの量と使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量の差を埋めるか、保護対象にしたデータの量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量に適合するようにするまで継続します。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Applications and Databases
Agent Remote Media For Linux Servers
Agent for Linux
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option
Enterprise Server Option
Library Expansion Option (無制限)
NDMP Option
VTL Unlimited Tape Drive Option

**2.3.4 Capacity Edition (レガシー)。**お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが **Capacity Edition** として使用許諾されている場合、お客様は **Backup Exec Server**、エージェントおよびオプションを無制限に使用できます。**Capacity Edition** ライセンスはフロントエンドテラバイトの数値で測定されて保護されます。たとえば、お客様が、フロントエンドテラバイト **3 TB** のデータをバックアップするために **Capacity Edition** のコンポーネントが必要な場合、フロントエンドテラバイト **3 TB** の **Capacity Edition** のライセンス対象ソフトウェアの使用許諾を受ける必要があります。上記にかかわらず、**30** 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでバックアップデータを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイトの量と使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量の差を埋めるか、保護対象にしたデータの量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量に適合するようにするまで継続します。

**2.3.5 Capacity Edition Lite (レガシー)。**お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが **Capacity Edition Lite** として使用許諾されている場合には、次の **Backup Exec** エージェントを無制限に利用できます: **Agent for Applications and Databases**、**Agent for Windows**、**Agent for Linux**、**Agent for VMware and Hyper-V**。**Capacity Edition Lite** ライセンスは、保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイトの値で測定されます。たとえば、お客様は、フロントエンドテラバイト **3 TB** のデータをバックアップするために **Capacity Edition Lite** のコンポーネントが必要な場合、フロントエンドテラバイト **3 TB** の **Capacity Edition Lite** のライセンス対象ソフトウェアの使用許諾を受ける必要があります。上記にかかわらず、**30** 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでバックアップデータを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイトの量と使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量の差を埋めるか、保護対象にしたデータの量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイトの量に適合するようにするまで継続します。

**2.3.6 Backup Exec V-Ray Edition。**1 台のアクティブなサーバーでライセンス対象ソフトウェアおよび関連資料の個々のコピーを使用して、1 台の **Hypervisor** ホスト (ゲストの数にかかわらず) から、またはライセンス対象のソフトウェアが実行されているサーバーから、データバックアップを実行できます。別途ライセンスされたライセンス対象ソフトウェアのコピーがクラスタ内のアクティブな各サーバーにインストールされていることを前提に、ライセンス対象ソフトウェアの個々のコピーを一連のクラスタ化されたサー





パーの一部として 1 台のアクティブなサーバーで常に使用できます。クラスタ内のパッシブノードでは、別途ライセンスを必要とすることなく、ライセンス対象ソフトウェアのコピーをインストールできます。Backup Exec V-Ray Edition のライセンス数は、クラスタの Hypervisor ホストまたはノードで使用されている CPU ソケットの数に応じて集計されます。たとえば、お客様の環境で、クラスタに 3 つのノードがあり、それらがそれぞれ 2 台の CPU を備える Hypervisor を使用する場合、Backup Exec V-Ray Edition では 6 ライセンスが必要となります (2 台の CPU x 3 つのクラスタノード)。V-Ray Edition ライセンスに含まれるエージェントおよびオプションは、対象の Hypervisor ホストのゲスト仮想マシンについてのみに有効です。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Applications and Databases
Agent for Linux
Agent for Windows

**2.3.7 Backup Exec V-Ray Edition** により、仮想マシンと仮想マシンが常駐する仮想ホストを保護できます。V-Ray Edition に含まれる Backup Exec Server 1 台のみを保護するのではなく複数の物理コンピュータを保護するには、Backup Exec Agent やオプションのライセンスを追加購入する必要があります。たとえば、Oracle を実行している物理システムの場合は、Backup Exec Agent for Applications and Databases ライセンスを購入してそのサーバーを保護する必要があります。Oracle エージェントのバックアップを作成する Backup Exec Server のライセンスを追加購入する必要はありません。

**2.3.8** 仮想ホスト上で実行しているその他のアプリケーションは、V-Ray Edition ライセンスの対象外になります。たとえば、Hyper-V ホストが Microsoft Exchange Server も実行している場合、Exchange Server アプリケーションやそのデータを保護するための黙示的なライセンスはありません。このような構成では、Exchange Server を保護するために、Agent for Applications and Databases の追加ライセンスが必要になります。Exchange Server は、物理ホスト上で実行されているからです。

## 2.4 Custom Edition ライセンスに関する詳細。

**2.4.1 Backup Exec.** 物理サーバーまたは仮想サーバーにかかわらず、1 台のアクティブなサーバーでライセンス対象ソフトウェアおよび関連資料の個々のコピーを使用して、データのバックアップを実行できます。クラスタ内の各アクティブサーバーに個別のライセンスソフトウェアのライセンスコピーがインストールされている場合、クラスタ化された一連のサーバーの一部として、1 台のアクティブサーバー上のライセンス対象ソフトウェアの各コピーをいつでも使用できます。クラスタ内のパッシブノードには、インストールのみを目的としてライセンス対象ソフトウェアのコピーが 1 つ必要ですが、ライセンスは必要ありません。

**2.4.2 Backup Exec Agent for Windows.** Custom Edition では、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Windows のコピーを使用して、物理また仮想を問わず単一の Windows サーバーまたはノードを保護する必要があります。Agent for Applications and Databases では、保護対象のアプリケーションまたデータベースをホストするサーバーにインストールされた、Windows 用のエージェントが 1 つ必要になります。

**2.4.3 Backup Exec Agent for Linux.** Custom Edition では、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Linux のコピーを使用して、物理また仮想を問わず単一の Linux サーバーまたはノードを保護する必要があります。Agent for Applications and Databases では、保護対象のアプリケーションまたデータベースをホストするサーバーにインストールされた、Linux 用のエージェントが 1 つ必要になります。



**2.4.4 Backup Exec Enterprise Server Option。**お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Backup Exec Enterprise Server Option (以下「ESO」) を含む場合は、物理または仮想にかかわらず、1 台のアクティブな Backup Exec 集中管理サーバー環境で個別にライセンスされた ESO のコピーを常に使用できます。

**2.4.4.1 Central Admin Server Option** がインストールされている各サーバーには、個別にライセンスされた ESO のコピーが必要です。各 CAS は、管理対象 Backup Exec Server (MBES) として有効になっているライセンス対象ソフトウェアのライセンスされたすべてのコピーを管理できます。

**2.4.4.2** 管理対象 Backup Exec Server 環境の各ノードは、Advanced Disk-based Backup Option での使用が許諾されています。

**2.4.4.3 Storage Area Network (SAN)** に接続されている管理対象 Backup Exec Server 環境の各ノードは、バックアップデータを SAN 上の任意の共有ストレージデバイスに送信するための使用が許諾されています。Backup Exec Server で SAN デバイスとの共有を実行するには ESO 向けのライセンスコピーが必要です。

**2.4.4.4 Library Expansion Option (LEO)、VTL Unlimited Drive Option (VUDO)、または NDMP Option** ライセンスキーを共有している管理対象 Backup Exec Server 環境にライセンスされた Enterprise Server Option のコピーがインストールされている場合は、SAN 上のライセンス対象ソフトウェアを実行している複数のサーバーで、常に共通の LEO、VUDO、または NDMP ライセンスキーを使用可能にできます。

**2.4.5 Backup Exec Agent for Applications and Databases。**アプリケーションまたはデータベースを Hypervisor ホストで実行している場合、Backup Exec Agent for Applications and Databases の個別にライセンスされたコピーが必要です。お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Agent for Applications and Databases を含み、また Custom Edition である場合、サポート対象アプリケーションとデータベースの 1 つの完全な論理インスタンスに対する保護を有効にするために、物理または仮想にかかわらず、1 台のアクティブなサーバーで個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。また、物理または仮想にかかわらず、シリアル番号が付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases を使用している特定のサーバーまたはノードを保護する目的で、各シリアル番号が付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases を有効にした 1 つの関連付けられた Backup Exec Agent for Windows、または Agent for Linux をインストールできます。次のライセンス条項が Custom Edition ライセンスに適用されます:

**2.4.5.1 Backup Exec Agent for Applications and Databases- SharePoint サーバー。**Agent for Windows がインストールされているライセンス対象ソフトウェアを実行している特定のサーバーから複数の物理サーバーまたは論理サーバーに分散されている可能性がある SharePoint サーバーの 1 つの完全な論理インスタンスを保護するために、物理サーバーまたは仮想サーバーにかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバーで個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。または、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを使用して 1 つの SharePoint サーバーファームを保護することもできます。分散されたファーム環境では、SharePoint ファーム内の追加の SharePoint サーバー (Web フロントエンド、インデックス、クエリー、追加の SharePoint データベース) それぞれに追加の Agent for Windows のライセンスとインストールが必要です。

**2.4.5.2 Backup Exec Agent for Applications and Databases- Active Directory。**Active Directory を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行



している 1 台のアクティブなサーバー上で、Backup Exec Agent for Applications and Databases の個々のコピーを常に使用できます。Agent for Windows がインストールされ、Active Directory ドメインコントローラが保護されているライセンス対象ソフトウェアを実行している特定のサーバーからの個別リカバリを各ドメインコントローラで有効にするには、個別にライセンスされた Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。

**2.4.5.3 Backup Exec Agent for Applications and Databases- Veritas Enterprise Vault.** Veritas Enterprise Vault を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Enterprise Vault のインストールにおいてバックアップおよびリカバリを実行するには、複数の物理サーバーまたは論理サーバーに分散されている可能性がある各 Enterprise Vault サイトに対して、個別にライセンスされた Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。分散された環境では、Enterprise Vault の実体 (ボルトストア、フィンガープリントデータベース、インデックスロケーションなど) をホストする追加のサーバーについて Agent for Windows の追加のライセンスとインストールが必要となります。移行を目的とする場合は、Enterprise Vault データのテープへの移行に使用される各 Backup Exec Server 上に Agent for Applications and Databases のコピーがそれぞれ 1 つあれば十分です。

**2.4.5.4 Backup Exec Agent - Oracle.** Windows または Linux システム上の Oracle または Oracle RAC を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Oracle または Oracle RAC の各インスタンスを特定の環境で保護するには、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。

**2.4.5.5 Backup Exec Agent for Applications and Databases- Exchange Server.** Exchange Server を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Exchange Server の各インスタンスを特定の環境で保護するには、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。Exchange 2010 データベース可用性グループ (DAG) のバックアップおよびリカバリでは、ライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが DAG の各メンバーに必要です。

**2.4.5.6 Backup Exec Agent for Applications and Databases- SQL Server.** Microsoft SQL Server 製品を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。SQL Server 製品を特定の環境で保護するには、これがインストールされたインスタンスごとに個別にライセンスされた Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。

**2.4.6 Library Expansion Option.** ライセンス対象ソフトウェアを実行しているすべてのサーバーに、「スタンドアロン」の個々のストレージデバイスまたは、物理または仮想のテープオートローダ、ライブラリ、ロボットライブラリ、ロボットメディアチェンジャー内の 1 つのストレージデバイスを無制限に接続できます。2 つ以上のストレージデバイスを持つテープオートローダ、ライブラリ、ロボットライブラリ、ロボットメディアチェンジャーには、各デバイス内の最初のバックアップドライブ以降の追加ドライブごとに個別の Library Expansion Option のライセンスが必要です。



**2.4.7 Backup Exec NDMP Option。**物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた **Backup Exec NDMP Option** のコピーを常に使用できます。ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバーに接続した各 NDMP サーバーアプライアンスには、個別にライセンスされた **NDMP Option** のコピーが必要です。

**2.4.8 Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V。**1 台の VMware ESX ホストサーバーおよび 1 台の Microsoft Hyper-V ホストを保護するために、1 つの **Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V** ライセンスを常に使用できます。このホストサーバーは、ライセンスされた **VMware ESX** ホストシステムまたは **Microsoft Hyper-V** ホストシステム上にある無制限のゲスト仮想マシンを保護できます。ゲスト仮想マシンが動作している **VMware ESX** ホストかどうかに関係なく、ゲスト仮想マシンを管理する各 **VMware ESX** ホストサーバーまたは **Microsoft Hyper-V** ホストには、**Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V** ライセンスが必要です。**Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V** ライセンスは、追加の **Backup Exec Agent for Windows** および **Agent for Linux** で利用可能です。これらのエージェントでは追加のライセンスを購入することなく、ライセンス対象の **VMware ESX** または **Microsoft Hyper-V** ホストで実行されるゲストの各仮想マシンで使用できます。ゲストの仮想マシンで実行される他のアプリケーションについては、各アプリケーションまたはデータベースごとに **Backup Exec Agent for Applications and Databases** の個別のライセンスが必要になります。

**2.4.9 Backup Exec Remote Media Agent for Linux。**物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた **Backup Exec Remote Media Agent for Linux Servers** のコピーを常に使うことができます。

**2.4.10 Backup Exec Deduplication Option。**物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスされた **Backup Exec Deduplication Option** のコピーを常に使うことができます。

**2.4.11 Backup Exec VTL Unlimited Drive Option。**物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している、**Backup Exec Server** あたり 1 台のアクティブな **VTL** デバイスに対して、個別にライセンスされた **Backup Exec VTL Unlimited Drive Option (VUDO)** のコピーを常に使うことができます。

### 3. 追加の使用権および制限事項。

**3.1 Backup Exec Remote Administration Utility。**ライセンス対象ソフトウェアを実行している無制限のサーバーをリモートで管理する目的で、無制限の **Backup Exec Remote Administration Utility** を使うことができます。

**3.2 Veritas Backup Exec™ Configuration Tool for OpenDedupe。**使用許諾されたライセンス対象ソフトウェアに **Veritas Backup Exec™ Configuration Tool for OpenDedupe** が含まれている場合、以下の事項が適用されます。

**3.2.1** ライセンス対象ソフトウェアがサーバーコンピュータにインストールされるコンポーネントが含まれる場合、お客様は、インストールされた当該ライセンス対象ソフトウェアがライセンス文書の記載事項で権限を確認された最大数のクライアントまたはユーザーを使用する限り、本ソフトウェアの当該部分を任意の台数のサーバーコンピュータにインストールすることができます。

**3.2.2** ライセンス対象クライアントまたはユーザーをサポートするために、サードパーティアクセスライセンスモジュールまたはオプションとして設計された、ライセンス対象ソフトウェアのコンポーネントのいずれかを使用するには、ライセンス対象ソフトウェアの使用に伴い、追加料金を支払い、当該各サードパーティモジュールまたはオプションのライセンスを取得する必要があります。

**3.3 クラウドコネクタ。** ライセンス契約したライセンス対象ソフトウェアにベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスにバックアップを保存できるクラウドコネクタ (それぞれが 1 つの「Cloud Connector」) が含まれる場合、次の規定が適用されます。

**3.3.1** ベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスにバックアップを保存するための Cloud Connector の使用は、ベリタスの管理外の環境やサービスを提供するサードパーティにより変更される場合があります。ベリタスはお客様によるこのようなベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスへのアクセスや Cloud Connector の使用に直接または間接に起因する停止、データの損失、バグ、技術的な問題、またはその他のエラーについては責任を負いません。このようなベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスの利用によるあらゆるデータの損失または破損については、お客様が一切のリスクを負うものとします。

**3.3.2** 本書のその他のいかなる条項にもかかわらず、CLOUD CONNECTOR は「現状有姿のまま」ライセンスされ、いかなる種類の保証もありません。

## 4. コールドディザスタリカバリに関する修正済みライセンスの付与

**4.1. 本使用許諾契約の第 2 条の条項 (ii)**  
は、本条に記載された条項によって補完され、これらの条項はかかる条項に優先するものとします。以下に記載の要件に従い、お客様は業務サーバーのクラスタの一部であるコールドディザスタリカバリサイトに位置するコールドディザスタリカバリ機器上のコールドディザスタリカバリライセンスとして、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの追加コピーを 1 つインストールおよび使用できます。当該インストールおよび使用の要件は次のとおりです。

**4.1.1.** コールドディザスタリカバリ機器は、稼働中の環境でインストールされた同一のライセンス対象ソフトウェア製品およびバージョンを備えている必要があります。

**4.1.2.** コールドディザスタリカバリライセンスに使用されるソフトウェアライセンスがサーバーごとまたはプロセッサごとに使用許諾されている場合、コールドディザスタリカバリライセンスはライセンス対象ソフトウェアのライセンスで権限が確認されたサーバーティアまたはプロセッサティアと等しいか、それより大きい、またはそれより小さいサーバーティアまたはプロセッサティアに配備できます。コールドディザスタリカバリライセンスに使用されるソフトウェアライセンスがフロントエンドテラバイトごとに使用許諾されている場合、コールドディザスタリカバリライセンスはライセンス対象ソフトウェアのライセンスで権限が確認されたフロントエンドテラバイトと等しい、またはそれより小さいフロントエンドテラバイトに配備できます。

**4.1.3.** お客様のコールドディザスタリカバリライセンスを使用する権利は、基盤となるライセンス対象ソフトウェアのメンテナンス/サポートが期限切れした場合、自動的に終了します。コールド DR ライセンスには別途メンテナンス/サポートが提供されませんが、該当するライセンス対象ソフトウェアのメンテナンスを使用してインストールしたコールドディザスタリカバリライセンスを最新バージョンに維持できます。お客様がライセンス対象ソフトウェアの製品版ライセンスを使用している場合、同時にコールドディザスタリカバリライセンスを使用することはできません。次の例外を除き、コールドディザスタリカバリライセンスが配備されたコールドディザスタリカバリ機器の電源はオフにしておくか、アイドル状態にしておく必要があります。(i) 実際の災害時に使用する場合、または (ii) 実際の災害に関連して、またはテストの一環で、サーバーのクラスタ内の業務サーバーに障害が発生し、業務活動が予定されたコールドまたはアイドルサーバーに「フェールオーバー」された場合。

**4.1.4.** お客様は、合理性と必要性が認められる範囲において、1 年に 12 日間を上限としてコールドディザスタリカバリライセンスをフェールオーバー準備テストに使用できます。

**5. フィードバック。**ライセンス対象ソフトウェアは、お客様に任意で製品に対するフィードバックを要求する場合があります。かかるフィードバックを提供することで、お客様の知的財産権に基づいて、お客様はベリタスに対して、お客様についての言及なく、またお客様に対する義務を負わず、以下の権利を伴う、全世界的で、ロイヤルティフリーの、取り消し不能かつ非独占的なライセンスを付与します。ベリタスのライセンシーおよび顧客に対するサブライセンスの権利、ベリタス所定の方法でフィードバックを使用および開示する権利、およびベリタスまたはサブライセンシー所定の方法および媒体で、かかるフィードバックを包含したベリタスおよびサブライセンシーの製品を表示、実行、コピー、作成、使用、販売、あるいは処分する権利。

**6. ベンチマーク。**ライセンス対象ソフトウェアに関わるベンチマークテストまたはその他のテストの結果を、ベリタスの書面による事前の同意を得ずにサードパーティに開示することはできません。

**7. データ収集、データ保護の規制。**ライセンス対象ソフトウェアの使用に関して、ベリタスは特定の情報（以下「収集データ」という）を収集、維持、開示および使用することがあります。収集されたデータには、お客様、お客様のデバイスまたはシステム、お客様のソフトウェア使用に関して個人識別情報が含まれますがそれらに限定されません。ベリタスは、収集したデータを使用して、ライセンスソフトウェアまたは保守/サポートをお客様（また、第三者にもそのように依頼することがあります）に対して有効化、最適化、および提供を行い、統計分析のために集計データを確認することなどにより、ベリタス製品およびライセンス対象ソフトウェア全般を改善します。ライセンス対象ソフトウェアのインストールや使用により、お客様は本条で説明している収集データのベリタスによる収集に同意したことになります。ベリタスがお客様またはお客様のデバイスから収集、維持、開示、使用する情報について詳しくは、ベリタスの製品プライバシー通知 (<https://www.veritas.com/company/privacy>) を参照してください。ライセンス対象ソフトウェアの使用は、地域によりデータ保護に関する法律または規制の対象となることがあることに留意してください。お客様には、当該の法律または規制に確実に従ってライセンス対象ソフトウェアを使用する責任があります。本書の下でベリタスに提供される個人データに対するお客様の処理に、一般データ保護規則 (EU) 2016/679、または欧州経済地域、スイスにおける個人データおよびプライバシーの処理に関するその他該当する法律が適用される場合、ベリタスはその個人データを [www.veritas.com/gdpr](http://www.veritas.com/gdpr) に示すデータ処理に関する契約条件に従って処理するものとします。

**7.1.** ライセンス対象ソフトウェアの使用に関して、ベリタスは特定の情報（以下「収集データ」という）を収集、維持、開示および使用することがあります。これには Veritas Smart Meter などの各種のメカニズムやツールを制限なく使用することが含まれます。Veritas Smart Meter は、本条の目的に関連して以下の情報を提供するために設計されたツールです。Veritas Smart Meter は、Backup Exec Server からの遠隔測定データを使用する情報を提供します。お客様の環境では、遠隔測定データの自動アップロードを許可しないように設定されている場合があります。Veritas Smart Meter は、個人識別情報を含むお客様のデータコンテンツに対していかなる可視性も提供することはありません。

(i) 使用情報:

- 割り当てられた容量 (GB)
- 使用容量 (GB)
- メンテナンス契約情報